

# メタセコイア

(土屋中学校の樹)

<学校教育目標>

夢に向かって

～生徒には夢を 保護者には感動を 職員には技を～

第1号

令和6年4月8日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

祝 入学・進級「夢に向かって」

～時は金より大事!～

校長 澤田純一

昇る朝日の光にも力強さを感じる季節となりました。私は夏に向かうこの季節に心が躍ります。もちろんバイクのオイルも夏用に交換し楽しむことへの準備は怠りません(笑)。さっそく関越道を北に向かい走らせることとしました。ヘルメットの隙間から入り込む風が「春疾風だよ。お待たせ。今年もやってきたよ。」と語りかけてくれました。【ちなみに、風を表す言葉は美しい日本語と相まって多数存在します。私に季節を告げる風は毎年やってくるものですから風を友とし名前を付けています。

春：春疾風 夏：薫風 秋：雁渡し 冬：空風】私は「春疾風か。今年は遅かったじゃないか。」と返事をしながら春の訪れに感謝するのです。

この春という季節は、別れと出会い、あるいは、寂しさと希望という両面を感じさせてくれる季節ですね。3月には3年生が卒業しました。そこには笑顔と涙がありました。去っていく教職員の姿もありました。荷物と思い出をいっぱい抱えて。そして、4月になると新教職員が着任しました。旧教職員とともに力を合わせ、新入生や新3年2年の受け入れ準備を活気あふれる笑顔とともに進めていきました。土屋中で新たなスタートを切る皆さんのために、教職員が総力を挙げて準備をするのです。そのような準備をしながら「新入生をはじめ新3年2年よ、元気に登校し、新しいクラス、友人、先生と素晴らしい出会いをしてほしい」と願わずにいられませんでした。このように、教職員と生徒が一体となり唯一無二の学校を夢見ながら春疾風とともにバイクで疾走しました。本校の学校教育目標は「夢に向かって」です。夢中という言葉があります。これは、夢にまで見る憧れを表現しています。いいではないですか。大いに夢を見てほしいと願っています。しかし、夢を夢で終わらせないため、夢に時を刻んでほしいのです。夢に時を刻むと目標になります。私は長い人生を歩んできて思うことがあります。夢を実現するか夢で終わってしまうかは「いつまでにこれをする」「いつまでに自分はこうなっている」という夢に時を刻んで実行するか否かだと。「時は金なり」ということわざがあります。これはアメリカの政治家ベンジャミンフランクリン氏の「Time is money」の日本語訳です。時間はお金と同様に貴重なものだから決して無駄にしてはならないという戒めです。私はあえて言います。「時は金より大事」英訳すると「As for money, it is more important than money」ということでしょうか(笑)。

閑話休題(それはさておき)、私には2つの相棒がいます。一つ目は10年連れ添ったプルードで、2つ目は25年の付き合いになるバイクです。ともに2つの相棒はいつしか老犬そして老バイクと年を重ねました。「おいおい、お前も老人だろ!」と相棒が言い返してきそうですが、いつまでも一緒に歳をとりたくないと願うものです。「もう少し俺の人生に付き合ってくれよな。」そんなことを思いながら、貴重な時間を大切に過ごしていきたいですね。皆さんも土屋中学校での3年間というかけがえのない時間を大切にしてください。決してお金では買えないのですから。そして皆さんに一言「楽しもうぜ。自分の人生に遠慮はいらない。焦らずゆっくり成長しような。入学・進級おめでとう!」

🍃 今日の話はこれでおしまい。また来月お会いしましょう。🍃